

製品名: PRPF8 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe86889**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,FC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:2000-1:20000,IHC 1:200-1:2000,ICC/IF 1:100-1:200,FC 1:50-1:200
分子量	Calculated MW:274 kDa; Observed MW:274 kDa

抗原情報

遺伝子名	PRPF8
別名	PRP8; RP13; HPRP8; PRPC8; SNRNP220
遺伝子 ID	10594
SwissProt ID	Q6P2Q9
免疫原	ヒト PRPF8 の合成ペプチド

背景

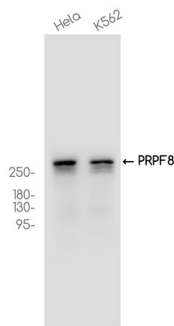
プレ mRNA スプライシングは、2段階の連続したエステル交換反応によって起こる。この遺伝子によってコードされるタンパク質

は、U2 依存性および U12 依存性スプライソソームの両方の構成要素であり、プレ mRNA スプライシング過程の触媒段階 II に必須であることが判明している。このタンパク質は、タンパク質間相互作用に機能する複数の WD リピートを含む。このタンパク質は、酵母 Prp8 タンパク質と配列相同性を示す。この遺伝子は、常染色体優性網膜色素変性症の候補遺伝子である。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]

研究分野

-

画像データ



PRPF8 ウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用して、HeLa、K562 細胞からの抽出物をウエスタンブロット分析しました。